



■活動日：2024年3月30日（日） 10:00~12:00

■参加者：チーム神於山 正会員 8名

■活動内容

- ・今回は、フクロウのヒナ確認の臨時活動ですが、巣箱の録画待ち時間に、果樹の施肥とタケノコ堀を行いました。
- ・フクロウの営巣継続を確認。親鳥の羽根が不自然に動くため、おそらくヒナは孵っているものと思います。未だヒナの姿は確認できませんでした。その為何羽居るのかも分かりませんでした。
- ・タケノコは、まだ熟練者にしか見つけられないようで、成果があったのは二人だけでした。
- ・切り倒したナラ枯れの木を切り株が、基地の上の林道の外の急傾斜地に積み上げられていました。崩れると被害が出そうです。又、早く焼却処分しないと中の虫が広がってしまうのではないのでしょうか？
- ・参加頂いた8名の皆さん。本当にお疲れ様でした。

■次回の活動

- ・次回（4月5日（金））は、タケノコ堀の臨時活動（フクロウの巣箱確認を含む）を予定しています。

フクロウの観察



巣箱のある木の下から、フクロウの観察台の間を20mの延長ケーブルで繋ぎました。これで巣箱から離れて観察ができますし、パソコンを録画状態にして放置できます。

タケノコ掘り



今年初めての収穫が出来たのは、このお二人で、左の写真：左手に1個、右の写真：地面に2個でした。



神於山は花盛り



ナラ枯れの木



切り倒したナラ枯れの木が林道のガードレールの外に積み上げられていました。林道から覗き込むと、積みあがった木の下の方に私達の基地のテーブル（赤丸内）が見えます。危なそう。又、早く焼き払わないと中の虫が広がるのでは？

活動頂いた8名のメンバーの皆さん



何かと忙しいなか参加頂きありがとうございました。
活動お疲れさまでした。
(金井さんの奥様が作ってくれた豚汁が美味しかった。(机真ん中の保温容器)いつもありがとうございます。)



以上